

にぎわい

東北版

平成28年8月

Vol.199

～日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～

目次 ● 秋田県内各港で夏のイベントが開催 一体験航海も大好評！



秋田県秋田市・能代市・男鹿市

県内各港で夏のイベントが開催 一体験航海も大好評！

(執筆 者)

国土交通省 東北地方整備局
秋田港湾事務所 企画調整課

TEL 018-847-2513

FAX 018-880-1021

今年も海の日に合わせて、秋田県内各港において港に関連したイベントが開催されました。**能代港**では7月17日に「のしろみなと祭り2016」、**船川港**では7月18日に「港湾業務艇「あきかぜ」体験航海」、そして**秋田港**では7月30日から31日にかけて「秋田港 海の祭典」が開催され、イベントの開催に合わせて、港湾業務艇「あきかぜ」による各港の体験航海が実施されました。



能代港で開催された「のしろみなと祭り2016」では、飲食や物販ブースが数多く出展されていたほか、ギネスレコードへのチャレンジ企画、海保や海自の船舶の一般公開も行われており、生憎の天候にもかかわらず多くの来場者で賑わいを見せていました。

体験航海は早朝から参加希望者が列を成す状況で、受付開始と同時に3航海計60名の定員がいっぱいになる盛況ぶり！航海中は時折晴れ間も覗き、乗船いただいた方々には大いに楽しんでいただけたようです。

▲おにぎりでギネスにチャレンジ！



▲体験航海は大盛況！



船川港

船川港で開催された「港湾業務艇「あきかぜ」体験航海」は昨年度から実施しているイベントであり、今年は航海数を増やしたところ、ほぼ定員に近い応募がありました。

選奨土木遺産の防波堤や国家石油備蓄基地、世界初の曲面スリットケーソンを採用した防波堤など、海側から見ると他では見ることができない施設が多くある船川港。新たな魅力発見につながったのではないのでしょうか。



▲船川港第一・二船入場防波堤
(選奨土木遺産)

秋田港で開催された「海の祭典」でも様々なステージイベントの開催や各種ブースが出展されていたほか、国内最大級の30m3級グラブ浚渫船が展示され、普段なかなか見られない作業船の大きさに驚きの声をあげたり、写真撮影をしている姿が数多く見受けられました。

こちらも体験航海は大好評！好天にも恵まれたため受付開始前から乗船希望者が長い列を作り、2日間計8航海で合計160名もの方に乗船していただきました。

両日も真夏を思わせる強い日差しが照りつけましたが、海上では爽やかな海風を感じることができ、快適な航海を楽しんでいただけたようでした。



秋田港

秋田県内の各港では、様々な海のイベントが開催されています！

来年の夏も、たくさんのイベントで盛り上がる秋田県の港へどうぞお出かけ下さい♪